

あなたの農業経営をサポートします。

アグリいしかり

石狩市農業総合支援センター通信
第18号 2013. 12月発行



J A いしかり青年部がサツマイモの試験栽培に取り組んで3年目。10月19日
支援センター試験圃場にて8人が参加して収穫作業を行いました。

農地の出し手農家を支援します

ご存知ですか？

平成25年度版 農地集積協力金

1 野菜一本に
経営転換したいのだが、
はて……

引継後の農地を
どうしたものか？

2 農地集積
協力金制度が
あります！

3 農地集積
協力金

4 農地集積
協力金が
交付されますよ！

「人・農地プラン」を定めた市町村の
農地集積に協力すれば、協力金が交付されます
平成25年度には土地利用型作物に加え、樹園地、野菜畑等も対象になりました。

全国農業会議所

全国農業会議所より農地集積協力金のお知らせです

出し手に対する支援
農地を出すことへの踏み切りを支援します。

農地集積協力金

1 経営転換協力金

人・農地プランを定めた市町村で、農地集積に協力して農地を一括して買付けられる場合には、経営転換協力金が交付されます。

交付単価

0.5ha以下:30万円/戸
0.5ha超2.0ha以下:50万円/戸
2.0超:70万円/戸

2 分散譲渡解消協力金

中心経営体の農地に附帯する農地の所有者または借りて耕作している農業者が農地の出し手になる場合も協力金の対象となります。

交付単価

5千円/10アール

※農地を内閣府指定または厚生労働省指定の農地であることが必要です。
※「自給責任」には出し手農業者が円滑化団体に交付先の希望を伝えられた場合も含まれます。

? 交付金はどのように
返金されるのか? 返金方法は、
返金希望をしない 返金希望



アグリいしかりに関しては
石狩市農業総合支援センター
☎ (0133) 66-3345
<http://www.ishikari-asc.jp/>

詳しくは農地の所在する市町村にお問い合わせください。

独身女性との交流会開催

9月7日「第五回いしかり独身農業青年と独身女性の交流会」を開催しました。男性は石狩地区6人、厚田地区1人計7人、女性は札幌市や大阪府などから計10人の合計17人が参加しました。はじめの自己紹介の後、男女混成グループによるパークゴルフで和やかな時間を過ごしました。(写真上段)終了後場所を移動して石狩土地改良区の調整池で昼食を食べ、その後時間制で男女ペアを作ってフリートークタイムを設けました。その後、支援センター試験圃場に移動して女性には赤い作業着を着用して、サツマイモ、かぼちゃ、スイートコーン、落花生等収穫しました。(写真下段)「男性のいろいろな人の人柄を少し知ることができた。」「落花生がこんな形で生育しているのを見るのは、はじめてだった。」など満足していた様子でした。



各農家の経営方法を学ぶ

市内指導農業者・農業士で構成された「半歩先を目指す会」(事務局 農業総合支援センター)は11月15日、活動の一環として会員の農場 施設の視察研修を行いました。

はじめは浜益地区・寺山広司さんで現在44ヘクタール、水稲、畑作と野菜、肉用牛とした複合経営で毎夏研修生の受入を実施。複合的な生産により互いに補ってできるので収益は安定していることや「やる気、本気、元気の3つの気が大切」と説明していました。

2件目の厚田地区・河合徳秋さんは平成11年から取り組んでいるメロン体験農園にふれ、主に札幌市内から通っている100組のオーナー達に栽培指導や対応を行っており、苦労が多くても「来年も楽しみにしている。」とリピーターとして参加してくれることを励みに毎年行っていると感想を述べていました。

最後の石狩地区・須藤聖治さんは面積約43坪の予冷庫を紹介。多品種の野菜を約51ヘクタールで栽培を行い、外国人を従業員として働かせ出荷していることを説明。「規模拡大を図れるが、それに伴って設備投資も増すことのバランスが難しい」と話をしていました。視察を終えた後は、酒庵升屋で意見交換会を開催して次回の内容について検討しました。



寺山さんの説明



河合さんの説明

いしかり塾・天使大学で出店

毎年盛大に行われている石狩産業まつり「石狩まるごとフェスタ2013」に昨年に続き参加し、韓国料理のチヂミを調理、販売を行いました。材料は生地の小麦をはじめ食材のタマネギ、キヌサヤエンドウ、ミニトマト、ニンジン、ダイコン等すべて地元野菜を使用して1食200円で販売しました。安い価格と、会場内は肉類を使った料理が多い中で唯一野菜を主とした商品でもあったためか、2日間で目標300食を上回る450食を販売することができました。いしかり塾の一人は「短い時間で盛り付け、接客など予想以上にたいへんだったが良い経験になった。」と感想を述べていました。天使大学には7月に市内で塾対象者の農場見学や収穫体験を行いながら、石狩市農業を理解してもらいました。今後とも石狩産野菜を使ったメニュー開発、イベントの出店などを行っていきたくと考えています。



出店ブースの様子



完成前のチヂミ

新・農業人フェアに出展

北海道農業担い手育成センター主催の農業を志す人を対象にした合同相談・説明会が11月23日札幌コンベンションセンターで行われ道内外から農業法人、自治体等100団体が出展しました。支援センターからは職員2人が説明員として参加しました。相談者は主に札幌市在住の30〜50代の会社員、パート等12人でした。問い合わせの多くは「札幌市から近い場所での就農を行いたい」という内容でしたが、就農までの研修、自己資金や就農後の地域住民とのコミュニケーションの重要性等を説明しました。

会場では昨年からの国の施策である青年就農給付金の活用を行いながらの研修を目指している者も多い様子でした。今後とも就農相談には丁寧に対応していきたいと考えています。



熊倉考査役の説明



会場の様子

支援センター視察 受入状況

9月以降2件の依頼があり、以下のとおりです。
1件目は厚田区「厚田アグリビジネス研究会」が10月30日、支援センター試験圃場で栽培品種や生育状況について説明を行いました。(写真左)



2件目は富良野市議会経済建設委員会に対してブランド化事業、6次産業化、新規担い手対策の説明を行いました。(写真右)

